

## 働きたいという思いに応える 職場を実現し人材を確保

社名 合資会社 ホリ ホールディングス  
所在地 北海道砂川市西1条北19丁目2番1号  
電話 0125-53-2231  
代表者 堀安規良 代表社員  
従業員 386人



HPIはこちら

ホリ ホールディングス  
北海道砂川市



▲北海道産原料で菓子をつくるアイデアを実現し大ヒット商品となった「夕張メロンピュアゼリー」

日本を代表する大企業が「終身雇用を守っていくのは難しい」と悲鳴を上げる中、「長く勤めてもらいたい」と願う中堅・中小企業も多い。「夕張メロンピュアゼリー」などの人気商品で知られる、北海道砂川市にある菓子製造販売のホリは、メンター制度導入など、さまざまな工夫をしている。

### ぜひ長く勤めてくださいと 面接時に社長が「お願い」

ホリをはじめ、北菓楼、ホリ菓などを展開するホリホールディングスの堀安規良代表社員は、就職面接や新入社員研修時に、必ず「お願い」することがある。「縁があつて入社していただくのだから、ぜひ長く勤めてください。みなさんは、日本で一番いい会社に入社したと思つて働いてください」と

# 特集1 なぜ、あの企業は元気なのか? 「夢のある会社」に 人は集まる!

中小企業の人材不足が叫ばれて久しい。その一方で、地方や中小規模であっても優秀な人材が集まり元気な企業もある。人材が集まる企業に共通しているのは、社員を大事にし、自社製品に強い愛着が持てるように環境を整えている「夢のある会社」だった。各地で評判の元気な企業の人材戦略に迫った。

もちろんお題目などではない。「皆と仲良く、長く勤めてもらいたいので、採用では協調性や元気、笑顔、素直さなどを特に重視しています。また一番いい会社になるように毎年、研修制度、職場環境待遇、福利厚生を改善しています」新入社員研修では、誰が何を教えるか、教える内容、教え方を先輩社員が考え工夫する。そうすることで、先輩社員は自身が身に付けた経験や知識を整理でき、教える勉強にもなり、新入社員との密なコミュニケーションを取ることができるといふ。

それでも新入社員には日常生活の中で困りごとが起こるかもしれない。それを解決するために同社には、「お兄さん・お姉さん制度」があり、新入社員が先輩にどんなことでも気軽に聞ける関係をつくっている。

職場環境改善の一例として、2016年4月から製造現場へのロボットの導入を進めている。ロボットの主な仕事は、箱詰めやパレットへの積み上げといった作業の体の負担が大きく、かつ「商品の味に関わらない部分」(堀さん)。18年12月からは美唄工場で作業者の腰への負担を軽減するパワーアシストスーツの利用も始まった。

ホリで働く従業員は386人。

60歳以上の比率は約14%(54人)で、その中には70代4人、80代2人が含まれる。ロボットやパワーアシストスーツの導入は、年齢を重ねても働きたいと思う限り働いてもらうための施策だが、若い層にも好評だという。

しかし、一般的なピラミッド型組織の場合、係長から課長、課長から部長というように頂点へ向かうほどポストが少なくなっていく。辞める人が少なければ、ポストに空きがなくなり、昇進というインセンティブがなくなってしまうのではないかと。

堀さんは、二つの方法でその解決を図っている。まず役職定年を設けているので、役職者が一定の年齢になればポストは空く。ただし「その人が健康で、やる気があつて、上司に力を認められていれば、そのままの役職で働いてもらいます。社員はその姿を見て、本当に長く勤めることができるのだと実感しているはず」。

次に継続的な設備投資。和菓子、洋菓子、おかし、ゼリーなどの工場を砂川や隣の美唄市などに次々と建設してきた。現在は砂川にチョコレート工場を建設する計画が進んでいる。来年、工場が稼働すると多くの従業員が必要になり、管理職ポストも増えるというわけだ。